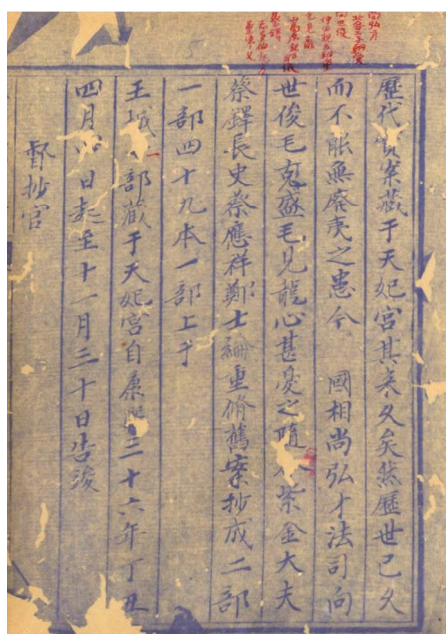




『歷代寶案』校訂本全 15 冊



東恩納影印本『歷代寶案』（沖繩県立図書館東恩納寛惇文庫所蔵）
左：第一集卷 40 表紙、右：第一集卷一序



校訂本編集作業資料

『歴代宝案』校訂本全 15 冊刊行記念シンポジウム

2017年7月8日(土) 14時～17時00分

沖縄県公文書館 講堂

◆ 基調講演 14時～15時

田名真之 歴代宝案の編集とその意味

生田 滋 「ビッグデータ」としての『歴代宝案』

◆ パネルディスカッション 15時15分～17時00分

◆ コーディネーター

高良倉吉 (琉球大学名誉教授)

◆ パネリスト

赤嶺 守 (琉球大学教授)

生田 滋 (大東文化大学名誉教授)

金城正篤 (琉球大学名誉教授)

田名真之 (沖縄県立博物館・美術館館長)

西里喜行 (琉球大学名誉教授)

濱下武志 (龍谷大学客員研究員)



— 失われた歴史の復元をめざして —



『琉客談記』沖縄県立博物館・美術館所蔵

背景『歴代宝案』鎌倉本 沖縄県立芸術大学図書・芸術資料館所蔵

主催 沖縄県教育委員会

問い合わせ先：〒901-1105 沖縄県南風原町新川 148-3 (沖縄県公文書館内)

沖縄県教育庁文化財課 史料編集班 電話：888-3939



琉球王国の外交文書

— 歴代宝案への誘い

いざな



基調講演の様子（田名報告）



基調講演の様子（生田報告）



パネルディスカッション
 (左よりコーディネーターの高良委員、
 パネリストの金城・西里・濱下・赤嶺・生田・田名各委員)



パネルディスカッション



フロアからの発言 (夫馬委員)



シンポジウム会場の様子



シンポジウム会場の様子



シンポジウム会場ロビーの様子



シンポジウム会場ロビーの展示



歴代宝案編集委員